

特別集会のためのアウトライン

(2017年2月17日—19日)

主題：世界情勢と主の行動に関する特別な交わり

2017年の特別集会のための標語

わたしたちはこの時代と現にある真理を知り、
神の主権、世界の終極の情勢、神の終極の回復についてのビジョンを見て、
神の終極の行動におけるわたしたちの終極の責任を果たす必要があります。
それは主をかしらとして尊び、
からだによって均衡がとられてからだの唯一の一の中に保たれることによってです。

この時代を知ることによって、また現にある真理を知ることによって、

神と協力して神のエコノミーにおける神の行動を遂行する

聖書：エゼキエル 1:15-21. ヨハネ 7:37-39. I コリント 15:45 後半.

II コリント 3:17. 出 30:23-25. ローマ 8:2, 9-11. イザヤ 30:26.

啓 1:4. 3:1. 4:5. 5:6. II ペテロ 1:12. 啓 19:7-9. 21:2

I. エゼキエル書で、神のエコノミーと神のエコノミーにおける神の行動は、高くて畏るべき車輪によって表徴されています——エゼキエル 1:15-21：

- A. この大きな車輪の車軸は、神のエコノミーの中心としてのキリストを表徴します。輪縁は、キリストの配偶者、すなわち召会を表徴し、それは新エルサレムにおいて究極的に完成します。車軸から輪縁に広がる車輪のスポークは、キリストの肢体としての多くの信者たちを表徴します。
- B. 生き物のそばに地上で車輪が出現することは、地上での神の行動が四つの生き物の組み合わせに従うことを示します。
- C. 神の行動は人の中での神のエコノミーの行動であり、人を神化して、一人の新しい人を生み出し、神がキリストの中で彼の団体的な表現と行政を得るためです——10, 13, 15, 26-27 節. エペソ 2:15. 4:22-24. コロサイ 3:10-11.
- D. あらゆる地方召会とあらゆる個々の信者は、彼らに従う高くて畏るべき車輪を持つべきです——参照、使徒 13:1-2.
- E. 車輪が生き物に従うことは、神の働きの行動がわたしたちの行動することにかかっていることを示します。それはまた、わたしたちが信仰の中で行動するなら、主がわたしたちの行動に従うようになることを示します——エゼキエル 1:19. II コリント 5:7. 4:13, 18. 参照、伝 11:4.
- F. 車輪は生き物に従い（エゼキエル 1:19, 21）、生き物は霊（the Spirit）に従い、霊（the Spirit）は車輪の中にあります：

- 1. このことが示しているのは、わたしたちの行動の中の主の行動が、肉体と成ることの原則の中にあるということです——20 節. 参照、I コリント 7:10, 12.
- 2. これが主の今日の地上の行動であり、これが主の回復です。

II. わたしたちは主と協力して、彼のエコノミーにおける彼の行動を遂行しようとするなら、この時代を知らなければなりません。この時代を知ること、特別な方法で今日のキリスト教の時代を知ることであり、それは特に聖書の啓示、神聖な真理、真の正しい神学との関係においてです：

- A. 今日の神学のどれも、ニケア信条を含めて、神の永遠のエコノミーの行動における、神の霊に関する以下の五つの極めて重要な点を十分に強調していません：
- 1. キリストの栄光が現される（復活）前、命を与えるその霊はまだありませんでした——ヨハネ 7:37-39.
- 2. 最後のアダム（肉体におけるキリスト）は命を与える霊と成りました（ヨハネ第 7 章 39 節を成就しました）——I コリント 15:45 後半。ですから、II コリント 第 3 章 17 節は「主はその霊です」と言い、次の節は「主なる霊」という複合の

神聖な名称を用いています。

3. 複合の霊は、出エジプト記第 30 章 23 節から 25 節の塗り油（一ヒンのオリーブ油と四種類の香料またその効力から成る複合物）によって予表されます。
 4. ローマ第 8 章 2 節、9 節から 11 節の命の霊、神の霊、キリストの霊、キリストご自身、内住する霊はすべて、命を与える複合の霊を指しています。
 5. 神の永遠のエコノミーの行動における神の霊は、神の七つの霊（七倍に強化された霊、参照、七倍の日光——イザヤ 30:26）です——啓 1:4. 3:1. 4:5. 5:6.
- B. カトリック、プロテスタントの諸宗派、ブラザレンの会衆、ペンテコステ派、すべてのフリーグループは、彼らの不完全で非聖書的な神学によって阻まれ、神の中心的な啓示を見失い、神の霊に関する上記の五つの極めて重要な点を失い、無視し、反対するゆえに、神の永遠のエコノミーの全体に達していません。
- C. 神が持たなければならない人々は、神・人であり、神の勝利者となって、神が彼の永遠のエコノミーを完成することができるようにする人々です。彼のエコノミーは召会に関するものであり、キリストのからだを生み出し、新エルサレムを究極的に完成します。

III. II ペテロ第 1 章 12 節は、「現にある真理」という言葉を述べています：

- A. すべての真理は聖書の中にありますが、人の愚かさ、不忠信、無知、不従順を通して、多くの真理が失われ、人から隠されました。新鮮に啓示された真理は、神の新しい発明ではありません。そうではなく、それは人の新しい発見です。
- B. 主のあらゆる働き人は神の御前で、現にある真理が何であるかを尋ねるべきです。わたしたちは神に尋ねる必要があります、「神よ、現にある真理は何でしょうか？」。
- C. わたしたちは、神の真理が蓄積するものであることを知っています。後の真理が前の真理を翻すことはありません。
- D. 神の過去の真理はすべて、今日の真理の土台を形成します。今日わたしたちが見るものは、神の蓄積された啓示です。
- E. 神がわたしたちの目を開いて、この事実を見せてくださるとき、わたしたちは神のみこころの潮流の中に生きていることを認識します。この潮流は、以前の時代における神の過去の働きすべての継続です。
- F. どうか神がわたしたちに恵み深くあって、わたしたちが「現にある真理」の落伍者とならないようにしてくださいませうに。わたしたちが目を覚ましていますように。肉に入って来させたり、自己に何の地位も得させたりすることがありませんように。神のみこころがわたしたちの中で達成されますように。

IV. 現にある真理とは神の中心的な啓示であり、また主の現在の回復です：

- A. わたしたちは、今日、回復とは何であるかを説明するように求められるなら、一つの簡単な文章で答えることができるべきです。主の回復とは、神が肉体と成り、肉体が命を与える霊と成り、命を与える霊が七倍に強化された霊と成って、召会を建造し、召会がキリストのからだとなり、新エルサレムを究極的に完成することです。
- B. これは三つの時期（肉体と成ること、包括、強化）におけるキリストの満ち満ちた務めであり、これが神の中心的な啓示また現にある真理です：
 1. 第一の時期、彼の肉体と成った時期、すなわち彼の人の誕生から死までにおいて、

彼は無限の神を有限な人の中へともたらし、三一の神と三部分から成る人を結合しミングリングし、彼の人性において、満ちあふれる神を彼の豊富な属性の中で彼のかぐわしい美德を通して表現し、彼のすべてを含む法理的な贖いを完成しました——ヨハネ 1:1, 14. マタイ 1:18, 20. ヨハネ 5:19. 4:34. 17:4. 14:10, 24. 5:30. 7:18. 1:29. エペソ 1:7. I ペテロ 1:18-19。

2. 第二の時期、彼の包括の時期、すなわち彼の復活から召会の墮落までにおいて、彼は神によって生まれて神の長子となり、命を与える霊と成り、彼のからだのために信者たちを再生しました——使徒 13:33. I コリント 15:45 後半. I ペテロ 1:3。
3. 第三の時期、彼の強化の時期、すなわち召会の墮落から新エルサレムの究極的完成までにおいて、彼は彼の有機的な救いを強化し、勝利者を生み出し、新エルサレムを究極的に完成します——啓 1:4. 3:1. 4:5. 5:6. 2:1-7. 19:7-9. 21:2。
4. わたしたちは三つの段階の働きを行なう必要があります。それは、贖われた人々を生み出す肉体と成った時期の働きであり、召会を生み出す包括の時期の働きであり、勝利者を生み出してからだを建造し、からだは神のエコノミーの唯一の目標としての、新エルサレムにおいて究極的に完成する強化の時期の働きです。